



静岡の技術 搭載 ガンダム 宇宙へ

2020
東京五輪パラ

高温耐え 大会応援

2020年東京五輪・パラリンピック組織委員会は4日、超小型衛星に搭載して宇宙に飛ばすアニメ「機動戦士ガンダム」の模型を静岡市葵区のバンダイホビーセンターで披露した。宇宙航空研究開発機構（JAXA）や東京と連携して

来年3月に打ち上げ、宇宙から応援メッセージを送るなど大会を盛り上げる。イベントには宇宙飛行士の野口聡一さんと金井喜茂さんが出席。野口さんは「本を代表する静岡のプラモデル技術が宇宙に通用する」と期待し、金井さんは「ガン

模型製作現場で披露

ラが好きで遊んだ世代。子どもの頃の夢に戻るようなすてきなプロジェクト」と語った。

搭載するのは200分の1スケール（高さ9センチ）の「ガンダム」と「シャア専用ザク」の2体。衛星から宇宙空間に放出されるため200度の高温に耐えられるよう特殊な樹脂を使用した。ホビーセンターの製作担当 山中信弘さん（49）は「ガンプラ40周年の節目に五輪の応援に関われるのは光栄」と意気込んだ。衛星はカメラや電光撮写板を搭載し、撮影した画像を地球に送信する。

（経済部・森田憲吾）

超小型衛星に搭載される「ガンダム」と「シャア専用ザク」。奥は宇宙飛行士の野口聡一さん。4日午後、静岡市葵区のバンダイホビーセンター（写真部・二神等）

2019年
9月5日朝刊

- ① 静岡県のモノづくりの技術をどのように地域活性化に利用したらよいか、モデルプランを作成せよ。
- ② 宇宙空間に放出された「ガンダム」と「シャア専用ザク」が、どのような軌道を描いて移動していくかシミュレーションせよ。
- ③ 「ガンダム」と「シャア専用ザク」がまとう、200度の高温に耐えられる特殊な樹脂は、他のどのような技術・産業に応用できるか、考察せよ。

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石 克巳（静岡県立静岡高校 教諭）

（高校／国語）

<参考>①＝地域行政学に関する問題、②＝物理学に関する問題、③＝化学に関する問題